

# 令和5年第1回 (1月)

## 定例教育委員会会議録

令和5年1月25日

荒尾市教育委員会



令和5年1月 定例教育委員会 議事録

1. 日 時 令和5年1月25日（水）10時00分

2. 場 所 43号会議室

3. 出席委員

教育長	浦部 眞
委員	旭田 國浩
委員	渡邊 義専
委員	深浦 淳美
委員	谷本 ひとみ

4. 出席事務局職員

教育次長兼教 育振興課長	橋本 張幸	学校教育課長 兼教育審議員	村上 豊優
生涯学習課長	宮脇 浩司	指導主事	池田 祐樹
指導主事	村上 弦大	課長補佐兼学 務係長	畑山 鉄也
給食センター 所長	永吉 万寿美	給食センター 整備推進室長	岡村 哲明
課長補佐兼社 会教育係長	馬場 理恵子	少年指導セン ター長	前田 偉知雄
教育政策係長	田中 彰		

5. 傍聴者 無し

教育長           ○開会宣言      令和 5 年 1 月 25 日（水）10 時 00 分  
                  ○会議成立の確認（過半数出席）  
                  ○議題、会議の日程等の承認  
                  ○会議録署名委員の指名（渡邊委員）

1. 前回会議録の承認（署名：深浦委員）
2. 議案及び審議結果

【議第 2 号 荒尾市いじめ防止対策審議会委員の委嘱について（教育振興課）】 原案可決

○議案概要

荒尾市いじめ問題対策連絡会議等条例第 9 条及び第 10 条に基づく委員の委嘱に関する審議。

○事務局説明（教育振興課長）

○質疑

教育委員	本審議会は、いじめ防止のための審議会という位置づけなのか。
事務局	荒尾市いじめ問題対策連絡会議等条例第 8 条に基づき、いじめの防止等のための対策だけではなく、重大事態に関する事項等の審議も行うものである。
教育委員	条例にある、「連絡会議」、「審議会」、「調査委員会」のメンバー構成は「審議会」の構成と同じか。また、今回の議事にある「審議会」委員の男女比についてだが、今後は男女の構成比率についても配慮いただきたい。
事務局	重複する可能性はあるが、それぞれ別々となる。なお、「調査委員会」については、市長の諮問によるものであり、市長部局の機関となる。
教育委員	子どもや保護者のトラブルの現場対応を行っている人など、より現場に近い方に委員に入ってもよいかと考えるが、委員の専任においてそういった点は考慮されるのか。
事務局	審議会の委員は、条例第 9 条に基づき、学識経験者や関係団体の代表者をお願いすることになるため、選任については団体等の判断によるものである。なお、同じ団体内において学校現場との関りがある人がいれば、可能な範囲で情報共有は行われていると理解している。

【報告第3号 令和4年度荒尾市の教育に関する事務の管理及び執行の状況に関する令和3年度事業点検評価報告書について（教育振興課）】 **原案可決**

○議案概要

「荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価実施要綱」に基づき、事務点検評価委員会を開催し、結果を報告書として作成するもの。

○事務局説明（教育振興課長）

○質疑

教育委員	前年度よりも内容が整理されているが、どのような点に配慮されたのか。
事務局	法的に実施が必須なもの等、例年継続的な取り組みを行う事業については、判断の余地が少ないため、概評から省いた。しかしながら、現状においてもまだ項目数が多いため、今後も更なる簡略化等を継続的に検討したい。
教育委員	令和3年度に新規事業として挙げられていた「東京オリンピック応援事業費」については、事業費0円で完了となっているが、東京オリンピックが終了したため、未実施でも終了となるということか。
事務局	本事業は、本市の出身者が東京オリンピックの代表に選出された際に、応援のための横断幕設置や試合のパブリックビューイング等を行うための事業であったが、結果として本市出身者の代表選出はなかったため、未実施という結果に終わったものである。なお、委員お見込みのとおり、東京オリンピックの終了をもって本事業も完了としているものである。

【報告第4号 荒尾市教育振興基本計画令和3年度数値目標報告書について（教育振興課）】

**原案可決**

○議案概要

荒尾市教育振興基本計画の評価・点検については、本計画に基づき、「荒尾市教育委員会の事務の点検及び評価」により実施し、結果を報告書として作成するもの。

○事務局説明（教育振興課長）

○質疑

教育委員	学力の面について、小学生は全国平均以上の結果であるのに対し、中学生は平均を下回る現状となっているが、中学校における学力向上のための取組に関して少し具体的な内容を伺いたい。
事務局	授業改善アドバイザーを活用した子ども中心の授業展開を行うよう取り組んでいる。主体的な学習を推進することで学力の向上にもつなげていきたい。
教育委員	英検3級相当の学力のある生徒の割合は目標値に達しており、各施策を粘り

教育委員 事務局	強く続けていくことで、学力の向上につなげていただきたい。 英語検定チャレンジ事業について、検定費用は全額市からの助成なのか。中学3年生については、県3分の1、市で3分の2の負担であるが、それ以外の学年については全額市からの助成である。なお、事業費については、子ども未来基金という寄付を財源とした基金を活用している。
教育委員	検定費用を市から助成し、「市をあげて応援している」ということを児童生徒にも周知することで、英検受験へのモチベーション向上にも努めて欲しい。
教育委員	基本目標2の数値目標の達成状況において、「自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合」等の項目も全国学力・学習状況調査の項目にあるのか。
事務局	全国学力・学習状況調査の調査項目の一つである。
教育委員	中学生の学力に関連する事項であるが、中学校の教室は狭く感じる。アクティブラーニングを推進するには今以上のスペースが必要なのではないか。授業改善アドバイザー等からそのような意見はないか。
事務局	授業改善アドバイザーから教室の広さに関する指摘は無いが、各学校における授業計画において、広さが不足する場合は空き教室を活用する等の工夫はなされている。
事務局	総合教育会議における議事にもあったが、今後進めていく学校施設の長寿命化改修においては、教室の間取りの見直し等、現在の教育に合った学校施設とするための大規模な改修を行うこととしている。一朝一夕とはいかないが、施設面での学習環境整備も確実に進めていきたい。

【その他（1） 2月行事予定について】

○事務局説明

○質問

各委員	特になし
-----	------

【その他（2） 次回定例教育委員会の日程について】

○事務局提案

事務局	次回の令和5年第2回定例教育委員会は2月17日（金）10時30分から開催したいと思うがいかがか。
各委員	異議なし。
教育長	それでは、次回の令和5年第2回定例教育委員会は2月17日（金）10時30分から開催する。

教育長

○閉会宣言 令和5年1月25日（水） 10時40分